

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が年3～4回しか開催ができていません。	おおむね二ヶ月に1回、年6回の開催を目標に開催の仕方を工夫します。	地域住民を中心とした運営推進会議に加え、家族を中心にした会など、びろうじゅのケアに関して話し合う機会なども運営推進会議と設定し、多くの方の意見を聞く機会を増やしていきます。	6ヶ月
2	23	入居者各自の普段との変化などは申し送りを行い、職員間で情報共有をできていますが、入居者各自にみられる新たな発見や気づきを共有する仕組みを強化する必要があります。	入居者各自のポジティブな情報を皆で共有する仕組みを作り、普段のケアに活かしていくことで、より個別性の高い、質の高いケアを実践します。	気づきのノートを作成し、コミュニケーション・ケア・レクリエーション等の項目に分け、各入居者に関する新しい発見・気づきを皆で共有していきます。	6ヶ月
3	5	今まで事故の発生について行政へ報告した例が無く、今後報告事例があれば報告を徹底していく必要があります	行政への報告を随時行なっていくことで、透明性のある事業所運営に努めていきます。	行政への報告手順を明確にします。また、報告を形式的なものとするのではなく、再発防止に向けて意義のあるものにしていきます。	6ヶ月
4	43	玄関入ってすぐのトイレが、どうしても車椅子の出し入れをする際、ドアが開いた状態になってしまい、プライバシーへの配慮が必要です。	開所から6年が経過し、ハード面の整備、補修などが必要であれば、随時対応していきます。	玄関入ってすぐのトイレ前には、カーテンを設置し、目隠しをします。その他、職員間ではつい当たり前になって見過ごしてしまっている点などについて、外部の方からの意見も積極的に取り入れ、改善を図っていきます。	6ヶ月
5	49	日々の外出や買い物にボランティアの方にご協力をいただける地域とのつながりを目指し、もっと交流を深めていく必要があります。	地域の方が、用事が無くてもホームを覗いて声をかけていただけるようになり、日常のケアに携わっていただける関係作りをすすめます。	町会長様のご協力も得ながら、運営推進会議や回覧板、びろうじゅ通信なども活用し、地域へ情報を積極的に発信し、地域連携を深めていきます。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。